

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和2年2月21日 VOL. 131

介護人材の確保を図り、「介護従事者入門講座」と「就業相談会」を開催

令和元年12月2日（月）、13日（金）藤枝市生涯学習センターで、介護人材の確保を図ることを目的に、介護従事者入門講座（以下「入門講座」）を開催しました。入門講座を2日間受講することで受講者は「介護予防・生活支援サービス（要支援1、2相当対象サービス）」に従事することができます。入門講座では、理学療法士や介護支援専門員などを講師に招き、介護予防や認知症、生活支援の基本などを学びました。受講者は実際に体を動かして自分の状態を確認したり、自分自身が経験したことを講師に質問するなどして熱心に受講しました。2日目の最後に振り返りを行い、「介護について基本的なことを学ぶことができてよかった」「自分のためになった」などといった感想を聞くことができました。



講師の説明を聞く受講者

令和2年1月15日（水）藤枝市生涯学習センターで、入門講座の受講者と介護サービス事業所とのマッチングを行うための「就業相談会」を開催しました。緩和基準訪問型サービス（要支援1、2と事業対象者を対象としたサービス）を提供する市内の3事業所が参加し、それぞれの事業所が受講者に向けてPRしました。そこでは、受講者ができることと事業所が求めていることの確認を行い、その後、各事業所がブースに分かれて個別に相談を受け、参加者に活動内容の詳細などを説明しました。今後も今回のような介護人材の育成と事業所とのマッチングの機会作りを行い、介護人材の確保を図ります。



事業所に相談する参加者

高齢者のための支え合いの地域づくりの推進に向けた取組

令和2年1月9日（木）に支え合いの地域づくりを効果的に進めていくことを目的に「令和元年度 第2回 第1層協議体」を開催しました。協議体では、第1層、2層それぞれの今年度の実績と今後の活動について報告しました。その後、2層の生活支援コーディネーターが報告した各地区の課題にも含まれていた移動支援について協議しました。地域の住民や法人が主体となって行う「地域支え合い出かけっCARサービス事業」を実施している西益津、葉梨、瀬戸谷地区の報告や実施していない地区の課題などを共有しました。

令和元年9月に支え合いの地域づくり推進モデル地区に指定された高洲地区の取組の2本の柱である、移動支援を含めた「高齢者のための生活支援」と「介護予防のための通いの場づくり」の協議の進捗について確認しました。生活支援については、すでに実施している地区を参考に高洲地区の実状を踏まえ事業内容を検討していること、通いの場の立ち上げについては、自治会や町内会に理解を求め、町内会館ごとに住民主体の介護予防教室「アクティブクラブ」を立ち上げることを目標としていることの報告をし、令和2年度の事業開始に向け、市地域包括ケア推進課や市社会福祉協議会が支援していくことを確認しました。



協議する第1層協議体メンバー

バックNoの検索は

